

熊本空港

【実施主体：個社】

熊本空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
	外航受託料の引き上げ	従業員の賃上げを含む処遇改善に反映できるよう外航受託料の引き上げを行った。	
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）</p>	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	便の大幅遅延や突然のキャンセル或いは大幅遅延による深夜勤務の料金化	一部の航空会社について、勤務調整が必要になるような大幅な遅延や事前通知なしでの突然のキャンセル、或いは遅延に伴う深夜作業発生時などの料金化を実施。 また、貸し倒れなどの発生を防止するため預り保証金（デポジット）の導入又は貿易保険などを付保。	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	社内CS活動としてのFF（Fun Fan）プロジェクトの推進	従業員満足度を高めるためFFプロジェクトを立ち上げた。楽しみながらファンを増やすことをモットーに、働きやすい職場環境を作り、社員が生き甲斐・働き甲斐を感じる毎日を送れるようにすることを目的に活動を行っている。	

【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	国内定期便のハンドリングに影響が出ないように要員配置となるよう、外航受託においては、航空会社と運行ダイヤ等について事前に調整を実施。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	2名 x 7か月程度
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）	専門学校等に、地元に戻ってグラハンを希望するOBの紹介を依頼するとともに、地元自治体のUターン・Iターン施策に参画。	
教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）			
需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入			
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	キャリアパスの提示等	ホームページにキャリアパスを掲示している。 入社教育・階層別研修などの研修機会にキャリアパスの説明を開始した。	
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
	・ランプ業務の負担軽減のための検討 ・社員会・FFプロジェクトを中心とした職場勤務改善の推進 ※FF（Fun Fan）プロジェクト：従業員満足度を高めるための活動	・手荷物搭載業務の負担軽減のためパワースーツの導入等の検討を開始した。 ・社員会・FFプロジェクトを通じてハード・ソフトの両面から職場環境の改善に努めている。	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用	特定技能による人材確保策の検討	特定技能による人材確保策の検討	

【実施主体：空港会社等】

熊本空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>			
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>	<p>公式Instagramで「空港のお仕事」紹介企画の実施</p>	<p>空港会社、航空会社、警備会社等を含めた「空港のお仕事」を幅広く発信。空港で働くスタッフの実像を伝え、興味をもっていただくことを目的とする。</p>	
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進</p>			
<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）</p>			

【実施主体：地方自治体】

熊本空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）</p>	<p>公表されたベストプラクティスの空港WGへの展開・周知。</p>	<p>公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」を空港WGへ展開・周知。</p>	
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>空港所在地域の中学生に対する体験学習への協力</p>	<p>航空会社が主体として受け入れした2校の中学生複数名に対して、管制官や管制技術官の仕事説明と管制及び航空保安無線施設の見学対応を実施。なお、グランドハンドリングについては航空会社が見学等実施。</p>	
	<p>「空の日」事業開催への協力</p>	<p>「空の日」実行委員会を主体として、地域への航空振興を重点にリクルート活動としても事務所として管制官のリクルートブースを設置し、その中で中高生を対象に管制官の仕事説明、管制施設の見学及びシミュレーター体験を実施する予定。</p>	
	<p>女性用休養室の提供</p>	<p>空港運営会社に所属する女性職員が相次いで退職したことを受け、女性用休養室の区画提供を依頼された。これを受け、現在使用されていない気象女性用仮眠室を当所に所属替えの後、区画提供を行う。</p>	
	<p>空港内事業者間の相互見学会の開催</p>	<p>グラハン、空港警備、航空機給油事業者の職員を対象に管制施設等の見学会を実施。事務所内職員をターミナル見学会（バックヤード含む）に参加推奨。</p>	
	<p>出前講座の実施</p>	<p>空港近隣の大学等の要請に応じ、航空管制業務の出前講座を実施。</p>	
<p>【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金</p>	<p>R4補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の再周知</p>	<p>「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。</p>	

【短期】 空港WGの活用推進	空港WG構成員への情報提供	航空局所管に限らず国が行っている補助事業の情報を随時提供している。	
	空港WG構成員への情報提供	「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」の進捗状況を随時提供している。	
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港運営会社と連携し、空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】 更なる支援措置等の検討	R5年度補正予算にかかる補助申請書類に対する助言等	R5年度補正予算にかかる補助申請書類に対する助言等を実施	